認知症に関する多職種連携研修会開催結果

第１回

〇開催日時：平成 29 年 10 月 21 日（土）　14:00～17:00

〇参加者数：58 人

〇内　　容：・講演（14:05～15:10）
講師：厚生労働省老健局振興課　介護支援専門官　石山 麗子 様
・事例検討（15:20～16:30）
・各グループからの発表（16:30～16:50）
・講師からの講評（16:50～17:00）

〇アンケート集計（47 人回答）

(1)　所属

① 医師：2 名　②歯科医師：0 名　③薬剤師：3 名　④看護師：4 名
⑤その他医療関係者：4 名　⑥居宅介護支援事業所：15 名
⑦介護サービス事業所：6 名　⑧地域包括支援センター：7 名
⑨その他介護関係者：3 名　⑩行政：2 名　⑪その他：1 名

(2)　研修会に関して

② 講演内容について
よく理解できた：37 人、理解できた：9 人、あまり理解できなかった：0 人、無記入：1 名

③ 事例検討について
よく理解できた：33 人、理解できた：13 人、あまり理解できなかった：1 人

(3)　今後の多職種連携研修で受講してみたい研修内容、講師について

・良い学びがありますので多職種との集まりは大変勉強になります。
・看取りについて。小澤竹俊先生
・褥瘡について
・看取り
・認知症の方の虐待ケースが多いと思います。虐待対等の研修等あればと思います。
・医療と介護の連携研修。気軽に多職種が連携することができる機会があればよいと思います。
・座学と事例検討、とても勉強させてもらいました。またネットワークの大切さも痛感しました。
・地域力に関して住民、本人、個々はまだまだ老いに対しての準備が少ないように

思いますが、意識はあってもどうしたらよいか、という点があるように思います。地域、自治会も含めつくり方を今までになく、新しい形のをきいてみたいです。
・在宅医療について
・またこういった認知症をテーマにしたものを受けてみたい
・成年後見制度
・多職種連携研修がとてもよかったです。普段なかなか話できない職種の人の意見も聞けて新しい発見がありました。ありがとうございました。

(4)　その他、感想や気づいたこと

・多職種で多くの方と意見交換できてよかったです
・研修開始時間が少し遅れていました。今後は時間厳守でお願いします。終了時刻も同様です。
・いろいろな職種の方のお話が聞けてよかったです。ありがとうございました。
・ありがとうございました。良い機会でとても良かったです。
・もっとたくさんの職種、障がい者支援の方や法律関係の方が参加してもよいと思いました。
・多職種連携の研修を受け、利用者によりよいサービスを提供するのには、連携を取り話し合う事が大切だと思いました。
・認知症の方が家で生活することは、地域を含めて取り組んでいく大切さがよくわかった。多職種連携の大切さも分かった。
・とても勉強になりました。いろいろな職種の方とお話しできて良かったです。ありがとうございました。
・とても穏やかな声でホッとできる研修でした。チームも盛り上がりとても楽しかったです。ありがとうございました。
・多職種の人が集まることでいろいろな意見が聞くことができてとても有意義な時間でした。また参加したいです。
・普段接する事の少ない他職種の方の意見・視点を見れて良かったです。告知の話、深く考えたことなかったですが、改めて考えてみたいと思います。
・とても勉強になりました。ありがとうございました。
・講演共にグループワークができ、ありがとうございました。また参加したいです。
・いろんな職種の方と話ができました。見ている視点がちがうことから、やはり情報交換や共有は大切と感じました。チームケアのための勉強会開催をよろしくお願いします。
・ありがとうございました。
・最初に支援が必要ではないかと感じてから具体的に情報共有するまでの過程で各職種が何をすべきか考えなければならないと感じた。
・ありがとうございました。
・いろいろな発見や視点が学べてよかったです。

・思っていた内容より素晴らしいものでした。資料や説明もとても分かりやすく、自分の職場に戻ってスタッフに報告していきます。
・楽しかったです。
・他の職種の方の気づきもよくわかり、勉強になりました。
・全く関わりのない職種やいろんな方の話を聞けたのでためになりました。
・事例検討をグループですることで、多職種のさまざまな意見が出て自身では気付かなかったことがわかりました。とても有意義な研修でした。
・他の職種の方とのコミュニケーションがとれて大変勉強になりました。チーム医療に参加できるよう、また参加したいと思います。ありがとうございました。
・サービスを考えていく研修がたいへん役に立ちました。
・グループワーク、とても良い内容と雰囲気と思います。
・認知症に関する視点を改めて確認できました。
・グループ内に多職種の方がふり分けてもらっていたので、各職種の強みを改めて知る事ができた。
・普段は関わりの少ない方との作業はためになりました。

石山氏講演

事例検討の様子

認知症に関する多職種連携研修会開催結果

第２回

〇開催日時：平成 29 年 11 月 11 日（土）　14:00～17:00

〇参加者数：60 人

〇内　　容：・講演（14:05～15:25）
　　講師：生駒総合法律事務所　上﨑　智代 様
　　・事例検討（15:35～16:30）
　　・各グループからの発表（16:30～16:45）
　　・講師からの講評（16:45～17:00）

〇アンケート集計（53 人回答）

(1)　所属

① 医師：2 名　　②歯科医師：0 名　　③薬剤師：3 名　　④看護師：4 名
⑤その他医療関係者：5 名　　⑥居宅介護支援事業所：16 名
⑦介護サービス事業所：5 名　　⑧地域包括支援センター：7 名
⑨その他介護関係者：2 名　　⑩行政：6 名　⑪その他：3 名

(2)　研修会に関して

② 講演内容について
よく理解できた：37 人、理解できた：14 人、あまり理解できなかった：2 人

③ 事例検討について
よく理解できた：39 人、理解できた：14 人、あまり理解できなかった：0 人

(3)　今後の多職種連携研修で受講してみたい研修内容、講師について

・認知症、もっと教えてください。
・精神の病気を持った患者さんへの対応。地域でのくらしについて。
・困難事例ケーススタディ
・後見人制度をもっと知りたい。
・地域介護医療の実際の現場・現状について。
・障害福祉分野の支援者にも入ってもらい、高齢・障害の複合家庭のケース共有も勉強になると思います。
・看取りについて。
・「家族会」の方等、家族の立場から意見がきけたり、話したりすると、より一層現場に生かせるグループ検討ができると思うので
・リバースモケージ等法的な事

(4)　その他、感想や気づいたこと

・事例検討会を行って、知らなかった制度や気付かなかった意見に気づけて良かったです。
・これからもっと沢山研修会を行ってもらいたいです。
・多職種の意見が聞けてよかったです。
・１つのケースについて多職種からの視点をもって検討することはとても良いと思います。今後とも継続して下さい。
・成年後見制度についてとてもわかりやすく理解できました。
・グループで多職種により色々情報を支援でも勉強になりました。
・たいへん勉強になりました。
・実際の事例でリアル感があり、かわりやすかったです。
・好！
・ありがとうございました。
・グループワークの事例検討に多職種の幅広い意見が聞けて良かったです。
・迷ったら、まず通報のキーワードで安心しました。
・今日の事例はありがちなので大変興味深かったです。
・具体的な事例をもとに検討し、いろいろな職種の方の意見が聞けたので、大変勉強になりました。
・薬剤師として関わっていく方法について知りたいと思いました。
・今回の研修で成年後見制度がよく理解出来ました。どのタイミングでどうすれば利用できるのかも深く知る事ができました。今後のケースに役立てたいと思います。ありがとうございました。
・普段講義中のような事例に携わることが少ないのでとても興味深くアプローチや切り口など思いつかなかった視点もグループワークでの皆さんから教えてもらうことができ、貴重な学びとなりました。通報が遅れるとどこかの担当部署が悪く言われがちですが、そうではなく普段から顔の見える関係性を関係機関で構築しながら「少し気になるな」という段階で相談しあえるような体制が大切だと感じました。
・日頃業務で関わる事のない職種の方と交流でき、意見をきき、気付く事もあり、大変勉強になりました。
・ありがとうございました。
・消防関係者の参加は話が聞けて良かった。

上崎氏講演

事例検討の様子

平成29年度 多職種連携研修会（認知症をテーマに開催）

H28から認知症に関する多職種連携研修会を開催
H29は生駒市医師会と連携し、３回の連続講座を開催

	講師	内容	参加者数
第1回 （H29.10.21）	厚生労働省老健局振興課 介護支援専門官　石山 麗子 氏	認知症ケアの向上と多職種連携（介護分野）	58人
第2回 （H29.11.11）	生駒総合法律事務所 弁護士　上﨑　智代 氏	認知症高齢者に対する虐待への対応と 成年後見制度について	60人
第3回 （H29.11.18）	全国在宅療養支援診療所連絡会 会長　新田 國夫 氏	認知症ケアの向上と多職種連携（医療分野）	105人